

◆ 2020 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：かわごえ環境ネット

23A-33

代表者：理事長 小瀬 博之

URL : <http://kawagoekankyo.net/news/>

1. 活動が必要とされた状況

川越は、観光に人気の街で、年間 700 万人も訪れる。しかし、それは市の中心部のみで、数時間の滞在でしかない。ほとんどの市民にはあまり関係のないことである。市が力を入れている観光の情報は多くあるが、自然に関するものはほとんどない。かわごえ環境ネットでは、2010 年の 10 周年記念で「川越の自然」を刊行し、多くの方から好評を得た。その後 10 年たち、川越も開発が進み、樹林地など自然の要素が目に見える形で変化している。今回、20 周年記念で、これまでの調査記録などをふまえ、市民が気軽に訪れることのできる自然スポットの紹介や、生息する生き物などについて、新訂版「川越の自然」として刊行することにした。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

①編集委員会を開き、方針・方法・内容・発行部数・予算などを決める。

委員：15 名、第 1 回は 2019 年 7 月 29 日以後 20 回ほど開く。

②フィールドワークを数回持ち、編集委員が自然スポットへの知見を深める。分担した場所については各自が取材し情報を集める。このような作業を経て文章化し、編集委員会で推敲をする。

③12 月以降は編集作業に集中し、専門家に監修してもらう。1 月初旬にすべて校了。印刷の段取りになる。2 月中旬、A5 版、オールカラー、180 ページの装丁で 3000 冊が完成。



フィールドワーク

3. 活動の成果

本書の作成のための資金として広く寄付を募ったところ、300 名近い賛同があった。2 月中旬に出来上がった本を寄付者にお配りしたところ、「情報がずっしりとあって、写真も多く、きれいで分かりやすい」などの評をいただいた。5 月には公共施設などへの無償配布をする。一般の方へは口コミや地域メディアなどを通じて PR し、多くの方に手に取ってもらいたい。



編集委員

4. 今後に残された課題

川越は都心への利便性があり、今でも人口が増えている。その分、畑や雑木林が次々と開発され宅地化している。それだけに自然環境の喪失が危ぶまれる。広く市民の方々と自然の情報を共有することで、自然を守る力になるかも知れない。そのための資料として本書が役立つことを願っている。



冊子の表紙